

かまくら LIBRARY 図書館 だより
SINCE 1911
No.100

鎌倉市図書館のホームページ

蔵書検索、所蔵資料の予約、ご自分で借りているものの確認などができます。

休館日や開館時間の確認にもご利用ください。

パソコンから

<http://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>

携帯電話から

<http://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/i>

100 目次

- ・ 図書館だよりが100号に！
- ・ 特集！開館百周年まで、あと3年！
- ・ 鎌倉市図書館開館百周年記念事業について（答申）
- ・ 鎌倉市図書館開館百周年記念事業準備委員会の設置
- ・ 出版分科会
- ・ イベント分科会
- ・ 市民委員さんから一言
- ・ 開館当時の人気図書は？
- ・ 編集後記
- ・ かまくら図書館だより1号～100号記事内容一覧（別刷）



中央図書館が開館して5年、利用者が急増し、お伝えしたいことがたくさん出てきたため、情報提供の手段として昭和54年に発刊した「かまくら図書館だより」が、約30年をかけて、本号で記念すべき100号を迎えました。

その30年の歩みを検証するため、1号から100号までの記事内容一覧を別紙のとおり作成しましたのでご覧下さい。興味のある記事については、中央図書館2階の郷土資料コーナーでご覧下さい。

特集！開館百周年まで、あと3年！

鎌倉市図書館は明治44(1911)年7月20日、鎌倉小学校(現在の第一小学校)内に町立図書館として開館しました。現在も続いている図書館としては、神奈川県内で一番歴史のある図書館です。

開館百周年まで、あと3年に迫っていますが、どんな記念事業をどのように計画しているか、ご紹介します。

図書館協議会に諮問

開館百周年を5年後に控えた平成17年3月、中央図書館長の諮問機関である図書館協議会に「鎌倉市図書館百周年記念事業について」諮問をしました。

図書館協議会では3回の協議を重ねた結果、平成17年11月、答申をまとめ図書館に提出していただきました。内容は、次ページのとおりです。



鎌倉市図書館開館百周年記念事業について（答申）

< 目的と理念 >

- 1 図書館は、知る権利や学ぶ権利を保障する施設であり、また、私たち市民の生活の情報源として誰もが無料で平等に利用することができる大切な財産です。
- 2 基本的な資料の充実はもとより、長年にわたり蓄積してきた資料を大切に保存し、文化を次の時代に伝える大きな役割を図書館は持っています。ことに私たちの住む鎌倉においては、古都にふさわしい特色ある図書館となるよう望みます。そのためにも、市民が図書館をより身近に感じ、図書館と人、本と人、人と人を繋ぐことで未来に向けて情報発信の基地となることを目指してください。
- 3 図書館開館百周年の記念すべき時にあたり、鎌倉の図書館が「私たち市民の図書館」であるという社会的役割を確認し、私たち自身が自主的に関わることで、子どもから大人までさまざまな世代や地域の交流の場として発展し、利用しやすい楽しみにあふれた図書館にしていくことを目的に、この事業を実現するよう望みます。

< 記念事業の具体案 >

1 事業の企画運営について

- (1) 実行委員会方式をとり、委員は公募とする。
- (2) 記念誌発行については他に専門委員の参加を要請する。
- (3) 記念事業については実行委員会の中に分科会を設けることとする。

2 事業内容について

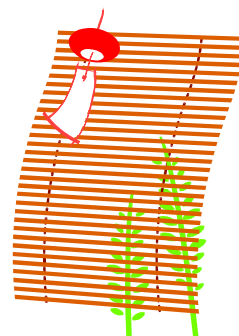
私たち市民が図書館との関わりをより深められるような下記に挙げる事業展開を望む。特に(2)については、情報の集積地としての図書館の役割も再認識できるような催しの工夫と、単発でなく継続した取り組みを期待する。市民ニーズを検証するアンケート調査をすることも一考であろう。

- (1) 記念誌の発行
- (2) 地域の文化・職業人の子どもたちへの講演等、世代・地域の交流を目的とした事業
- (3) 地域に鎌倉市図書館をアピールできるような記念グッズ（絵葉書等）の開発

鎌倉市図書館開館百周年記念事業準備委員会の設置

この答申を受け、図書館では「広報かまくら」平成19年2月1日号で公募委員の募集を行い、6名の公募委員と1名の図書館推薦委員の計7名と事務局として図書館長以下5名の職員の合計12名からなる「鎌倉市図書館開館百周年記念事業準備委員会」(以後、準備委員会)を同3月に立ち上げました。

準備委員会は、記念事業の内容により出版分科会とイベント分科会に分かれ、各分科会の協議内容・進捗状況等を確認、チェックするための全体会を含め3つの会議を開催しています。因みに各会議は、現在まで全体会が9回、出版分科会が10回、イベント分科会が5回、開催しています。



出版分科会

出版分科会では開館百年は通過点と考え、開館から現在までの経緯、そしてこれからの図書館を見据えた(仮)『鎌倉市図書館百年史』の出版を計画しています。と同時に、観光地である鎌倉には絵葉書に記憶された昔の鎌倉の景色が沢山残っていることから、百余年の歴史を持つ絵葉書という媒体を使って(仮)『絵葉書でみる鎌倉百景』を頒布用として出版する予定です。

また、収集した絵葉書を、やはり頒布用として復刻する予定です。

イベント分科会



イベント分科会では開館百周年にちなんだイベントは、打ち上げ花火のようなものではなく、図書館が文化・情報の発信基地として、現代の鎌倉アカデミアとなるようなイベントの企画を考えています。

また、鎌倉の図書館に愛着をもってもらくとともにオシャレで便利な頒布用の図書館バッグを企画したり、市民・利用者に100周年をよりPRするよう、菜を作成しカウンターで配布したいと考えています。

市民委員さんから一言

【鎌倉市図書館開館百周年記念事業準備委員会から】

鎌倉の図書館が100年もの歴史があることに気がつかないで利用していた一市民です。3年後の百周年に向けてのイベントや、後世に伝えられる記念誌を作るべく、事務局と協力しながら資料を掘り起こしています。
(準備委員会委員長 深尾勝子さん)

【イベント分科会から】

メンバーがデザインした“100周年菜”は如何でしょうか?近日中にカウンターで配布します。また10月開催の(仮称)「図書館まつり」では、図書館が秘蔵する(!?)お宝をたっぷり展示する予定です。どうぞお楽しみに♪

(準備委員会イベント分科会リーダー 阿曾千代子さん)

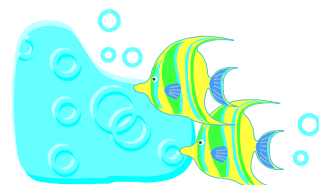
<100周年菜>

2011年鎌倉図書館
開館100周年!!



1936(昭和11)年の鎌倉図書館
(現おなり子どもの家)

<http://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>



【出版分科会から】

出版分科会では、(仮)『鎌倉市図書館百年史』と、(仮)『絵葉書で見る鎌倉百景』の出版をめざして編集プランを練り、資料の探索、整理、データ入力などの作業を鋭意すすめています。『百年史』のほうは歴史が古いゆえに、資料の掘り起こしに腐心しており、戦前あるいは戦後間もない頃の図書館の様子をご存知の方のご協力は不可欠です。鎌倉の風土の中で図書館がどのように息づき親しまれてきたかを明らかにするために、地域の皆さまの情報をお待ちしております。

(準備委員会出版分科会リーダー 和田安弘さん)

開館当時の人気図書は？

さて、鎌倉の図書館が開館したばかりの頃は、どのような本が人気だったのでしょうか。ちょっと年を下りますが、大正6年(1917)に東京市の図書館でどんな本がよく読まれていたか、記事が残っています。人気ベスト10(閲覧件数順)をご紹介します。

1位	岡田式静座の力	橋本五作	6位	水戸黄門	松林伯知
2位	貧乏物語	河上肇	7位	英作文考へ方及作例	山崎貞
3位	校歌口オマンス	出口競	8位	牛	岡本米蔵
4位	學者町學生町	出口競	9位	飛行機及び自動車	金井武一
5位	強い身體を造る法	川合春充	10位	學校の意味	遠藤隆吉

(『図書館雑誌』第33号 大正7年 日本図書館協会 より)

1位の『岡田式静座の力』は、岡田寅次郎という人が始めた精神の修養法についての本です。彼自身は「書いたものは誤って読まれることがある」として、著書も出さず、日記も残しませんでした。彼の門人が本をまとめました。この本そのものではありませんが、大正8(1919)年、実業之日本社から発行された『心身修養 岡田式静座法』という本は、中央図書館の地下書庫に保存されています。2位の『貧乏物語』は、当時から今まで長く読みつがれている本で、岩波文庫からも出ていますし、1930年発行の『第二貧乏物語』は、中央図書館で所蔵しています。10位の遠藤隆吉は、思想家、社会学者、教育者で、私立巣鴨学園の創設者です。『硬教育』を含めて著書を4冊中央図書館地下書庫で所蔵しています。

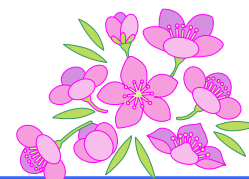
さて、いま皆さんが読んでいる本で、100年後まで読みつがれる1冊は、どれになるのでしょうか。



編集後記

「図書館だより」が約30年をかけて100号を迎えることができました。記事内容一覧を作成する過程で自分が入る前の図書館について知ることができ、また自分が入ってからのことは懐かしく思い出すことができました。次の200号に向けてさらに充実させていきたいと思えます。

特集の開館百周年については、今号でご紹介したとおり市民委員さんとともにさまざまな事業を計画し準備を進めています。乞うご期待！



編集・発行 鎌倉市中央図書館 〒248-0012 鎌倉市御成町20-35 ☎ 0467(25)2611

鎌倉市の図書館：腰越図書館☎(33)0711 深沢図書館☎(48)0022
大船図書館☎(45)7710 玉縄図書館☎(44)2218